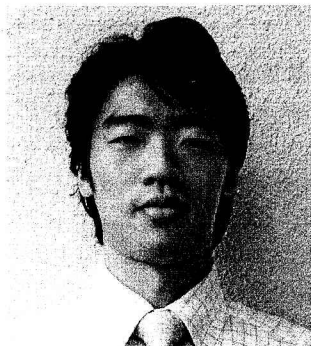


アマダ (特定非営利活動法人)

The Association of Medical Doctors of Asia : AMDA

- プロフィール** 岡山県岡山市に本部を置き、主にアジア、アフリカ、中南米において戦争・自然災害・貧困等により社会的・経済的に恵まれず社会から取り残されている人々への医療救援と生活状態改善のための支援を実施している。1995年、国連経済社会理事會から協議資格を授与され、また、2001年8月30日には岡山県より「特定非営利活動法人」として認証された。現在28の海外支部を置き、緊急救援や地域開発分野の活動を約13か国で実施している。
- 組織設立年** 1984年
- 代表者名** 理事長：菅波 茂
- 連絡先** 〒701-1202 岡山県岡山市橋津 310-1
TEL 086-284-7730 FAX 086-284-8959
URL <http://www.amda.or.jp>
- 活動対象国** アジア：カンボジア、ミャンマー、ベトナム、ネパール、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ
アフリカ：ザンビア、ケニア、ジブチ
中南米：ホンデュラス、ボリビア、ペルー
(2004年11月現在) など
- 応募方法・採用基準** 派遣者は、各地の事業ニーズを踏まえ、公募を経て選考される。派遣者は主に医療保健専門家、医療保健調整員、そして事業調整員に分類され、その応募資格は、基本的に国家資格、学歴あるいは職歴による裏付けが必要となる。医師、看護師、保健師、助産師、国際保健修士号取得者、国際開発分野における修士号取得者、または、同分野における職業経験が求められる。なお、現在事業調整員に関しては、原則として少なくとも3か月以上の本部勤務を経て派遣される。調整員の選考にあたっては、業務遂行上求められる語学力、交渉力、マネジメント能力などをより重視する。採用にあたり国籍制限はない。応募方法は、履歴書と志望動機を書いた書類（日・英2か国語）を、緊

急救援（短期）・開発協力（中長期）の希望分野を明記した上で送付，書類選考の後に派遣者登録を行い，事業ニーズに応じて面接・筆記試験を行い選考する。



アムダは、1975年の独立以来戦火が絶えないアンゴラの北西部に位置するザイル州の首都ムバンザ・コンゴ周辺地域に居住する国内避難民を支援するため、同国保健省（MOH）、社会復帰援助省（MINARS）、国連高等難民弁務官（UNHCR）、国連人口基金（UNFPA）などの機関と協力し、2000年8月から2002年の4月にかけて、同地域における医療保健システムの復旧に携わってきた。1999年に大きな戦禍を被った州立病院は、

その後ほとんど機能しない状況にあり、また内戦の激しさが収まった後も治安状況が不安定なため、常勤医師は1人もおらず、国内避難民を含む地域住民は、医療保健サービスが受けられない状況にあった。事業目的は、彼らに対する医療機会の提供を速やかに開始し継続すること、地域全般の健康維持に努めること、そして、現場で働く医療スタッフに対する技術移転を促すことにより、医療サービスの向上を図ることであった。したがって、事業の中心は毎日の診療活動に加え、医療機材、医薬品、医療消耗品などの提供と、約60人の医療スタッフに対するトレーニングに力を注ぐことであった。また周辺農村における保健教育や予防接種を支援する活動などにも積極的に取り組んだ。

アムダは、医師2名、看護師1名、それに2名のマネジメントスタッフを日本や海外の支部から派遣し、この大きな事業に取り組んだ。時に銃声が鳴り響く夜も少なくなく、公共サービスも極めて限られていた。水道は午前中の2時間、電気も夜中に4時間程度しか供給されない。電話線もないため、通信手段は衛星電話だけであった。首都ルアンダからは600キロ離れ、車で移動することもできなくはないが、反政府ゲリラ勢力の影響下にある地域も残っていたため、首都から現地への人員移動および貨物輸送は、運行スケジュールが非常に限定された国連機に頼らざるを得なかった。さらに、派遣者全員がマラリアの洗礼を受けるなど、健康上の試練も少なからず経験した。しかし、以上のようなさまざまな困難を乗り越え事業が継続された結果、州立病院は、現地スタッフとともにいま生まれ変わろうとしている。

【プロジェクトコーディネーター 田中一弘】